

MEJIRO UNIVERSITY ECO CAMPUS REPORT

エコキャンパスレポート 2016





目白大学学長 佐藤 郡衛

この夏、香港日本人学校を訪問しました。小学校4年生から「グローバルクラス」が特設され、算数、理科、プロジェクト学習の授業を英語で行っています。5年生のプロジェクト学習では、「水」をテーマにし、その成果を発表していましたが、とても興味深いものでした。子どもたちの発表です。香港市民700万人を支えるだけの水資源がなく、中国本土から水を買っているにもかかわらず、1日1人あたりの水使用量の平均が世界平均を上回っているといった内容です。また、香港のトイレの水の約80%が海水であり、そのことがウォシュレットが普及しない理由だといった点にまで及んでいました。そして、グループで短期と長期の解決策を考え提案するというものです。このように早い時期から環境問題について持続的に考えていく態度や力をつけていくことが必要だと強く感じました。大学でもこうした環境に関わる学習や取り組みを広げていきたいものです。

TOPICS

トピックス

私立大学環境保全協議会を共催

2017年3月13日・14日、私立大学環境保全協議会第33回総会・研修研究会が目白大学新宿キャンパスで開催されました。研究会では4つの講演が行われ、うち2つは本学教員が講師を務めました。佐藤郡衛学長の挨拶に続いて、野田正治教授(社会情報学科)による「環境から古代歴史を読み解く—日本の住居環境から判明すること—」、そして飛田満教授(地域社会学科)による「地域連携と環境教育—目白大学の取り組み—」の講演が行われました。その後、4つの分科会に分かれてグループ討議を実施。とくに「エコ活動と人材の育成」に関するグループには、目白大学の学生8名も討議に参加して、他大学の教職員や学生、企業の方たちと、エコ活動、環境教育、エコリーダーの育成、地域連携など、持続可能な社会づくりのための担い手育成について、自由活発な意見交換を行いました。またグループ討議会場近くに、目白大学のエコキャンパスづくりと環境保全活動に関するパネル

が展示され、参加者の関心を引いていました。今回の研究会は協議会と目白大学との共催ということで、開催にあたり学校法人目白学園「地球環境の保全及び低炭素社会への貢献」推進委員会が本学事務局となっており、研究会の運営を支えました。加えて交流会では、児童教育学科の小林恭子専任講師が、学科の学生を率いて、歌と演奏のパフォーマンスで場をいっそう盛り上げました。本研究会の写真が『私大環協ニュース』第62号の表紙を飾っています。



私大環協ニュース



野田教授の講演



グループ討議の様子

福島県矢祭町とコラボレーション

福島県東白川郡矢祭町で、心理カウンセリング学科の今野裕之教授の呼びかけのもと、目白大学の学生が農業体験研修を行っています。矢祭町は町土面積の約8割を森林、1割弱を農地が占める山間地。澄んだ空気と良質な水という豊かな自然に恵まれた環境にあります。またユニークな取り組みで注目されている町で、全国からの寄贈本29万冊によって開館した「矢祭もったいない図書館」、破格の赤ちゃん誕生祝い金などの子育て支援策、さらに森林の資源を活用した

バイオマス発電も計画されています。その矢祭町が2013年度から、高齢化が進む町の活性化策として、目白大学の学生を招いて農業体験研修を実施。4年目となる2016年度は、6名の目白大生が参加し、トマト・花卉・きのこ・ゆずの栽培や収穫を手伝い、農産物を用いた料理教室などを体験しました。さらに地元産の食品を学生たちが桐和祭(学園祭)で町の人たちと宣伝・販売。今後は本学短期大学部製菓学科の協力で、矢祭町の農産物を用いたスイーツの開発も企画されています。



矢祭町での農業体験

目白大学の環境対策

省エネルギー対策

- ソーラーシステム
- 集中制御空調システム
- 高効率空調システム
- ヒートポンプ式給湯器
- 人感センサー



太陽光発電

- 省エネルギー照明 (LED、インバーター式蛍光灯)
- 氷蓄熱システム
- 風力発電
- 目白学園電気予報



高効率空調機

緑化対策

- 700種類以上の樹木管理
- 屋上緑化
- 緑のカーテン
- 透水性インターロッキング
- ビオトープ



屋上緑化

省資源対策

- 再生紙の利用
- 天然石鹸の使用
- 空き缶回収装置
- 中水道システム



中水道システム

その他の対策

- ごみの分別
- 喫煙所以外の全面禁煙
- UVカット窓ガラス
- グラウンドの砂埃防止



ビオトープ

ECOアクションは、学生自らが企画し実施する環境プロジェクト。「環境問題という地球規模の問題に対して、私たちはどんなことができるでしょうか？地球のため、未来のため、どんな小さな取り組みでも構いません。足元から、今日から、なにか行動(アクション)を起こしましょう!」と呼びかけています。6回目となる2016年度は7件の意欲的な応募があり、その環境マインドとアクション性が評価され採択されました。桐和祭(学園祭)では、実施された企画の成果報告(中間報告)のパネル展示が行われました。

2016年度 採択・実施企画一覧

1. 廃油で作ルンドル(子ども学科 西山ゼミ)
2. 森の学園オリエンテーリング!(地域社会学科 飛田ゼミ)
3. 体感温度をゴミだけで下げるエコクーラー(児童教育学科 新聞委員)
4. エコキャップ運動(目白エコプロジェクトクルー)
5. 気仙沼へ夏野菜を届けよう!(三陸つばき)
6. オーガニックコットン(児童教育学科 山本ゼミ)
7. 岩槻キャンパスの学内資源を有効活用して被災地支援を!!(GREEN PIECE)



気仙沼



オリエンテーリング



学内資源



エコキャップ



オーガニックコットン

目白学園の学生・生徒一人ひとりのエコ意識向上をめざした、全学参加型のコンテストです。2011年度にスタートして以来、毎年異なる切り口で展開し《エコへの気づき》をキャンパスに楽しく拡げています。2016年度は「わたし×緑×〇〇～いいね!でつながるホットとフォト」と題して、日常の中にある身近な自然に目を向け、写真を共有することでエコにつなげようというフォトコンテストを実施。自分にとってお気に入りの緑の写真にエピソードを添えて、いま人気のインスタ

グラムに投稿して競ってもらいました。応募総数は126点。<ホットとフォト賞><エコ感じる賞><いいね!賞>の各部門別に最優秀賞1点、入賞5点、計18作品が選考委員会によって選ばれました。



エココンテストポスター



エココンテスト表彰式

2016年12月8日～10日、東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展」に本学が出展しました。「エコプロ」展は、前年度までの「エコプロダクツ」展から進化した日本最大級の環境イベント&展示会。さまざまな業種の企業、自治体、NPO・NGO、大学・研究機関などの環境問題に関わるビジネスパーソンから、一般の生活者、子どもたちまで、3日間で約16万7,000人が来場しました。4回目の出展となる本学は、「全学的エコキャンパス

づくりへの提案」をスローガンに、さまざまな取り組みを写真やグラフで表したパネルを展示。ブースでは、学生・教職員が、大学における環境への取り組みや、学科・ゼミのユニークなエコ活動・環境学習について説明・紹介し、多くの方々に足を止めていただきました。なかでも子ども向けに学生(メディア表現学科 河合ゼミ)が考案した、どんぐりを使ったミニクリスマスツリー作りが好評でした。



エコプロ

COLUMN [コラム]

本学で取得可能な資格「環境マネジメント実務士」

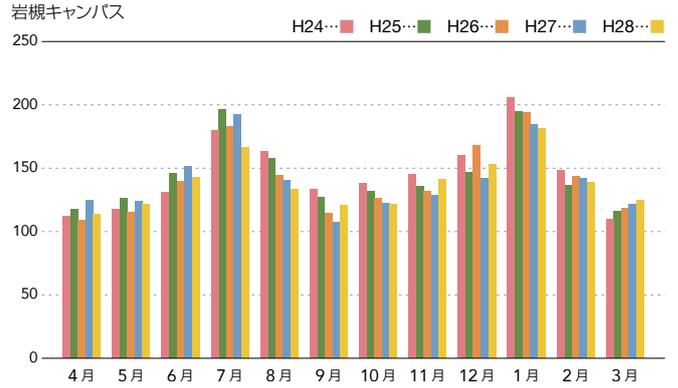
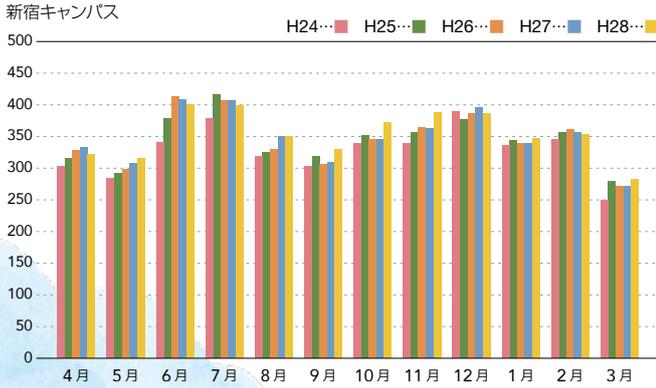
社会情報学科及び地域社会学科では、全国大学実務教育協会認定「環境マネジメント実務士」の資格を取得することができます。本資格は、人と自然との相互関係、環境対策の現状と課題など、持続可能な社会の実現に向けて、企業・自治体・個人が幅広い視野を持ち、環境問題に取り組むことのできる人材を育成することを目標とします。本資格取得のためには、必修科目4単位と選択科目16単位、合計20単位修得することが要件です。必修科目は、環境物理学と環境マネジメント論の2科目。選択科目はⅠ群からⅣ群まで4つの科目群に分かれ、環境学概論や環境倫理学など「環境科学」関連分野(Ⅰ群)、生活環境論や都市環境デザイン論など「環境応用科学」関連分野(Ⅱ群)、環境政策論やNGO・NPO活動論など「環境法・経済・政策」関連分野(Ⅲ群)、社会調査実習や衣環境調査実習など「環境調査」関連分野(Ⅳ群)の各群から2単位以上修得することとなっています。2009年度から8年間で、社会情報学科29名、地域社会学科35名の学生が本資格を取得しています。申請手順など、詳しくは教務部資格支援課にお問い合わせ下さい。



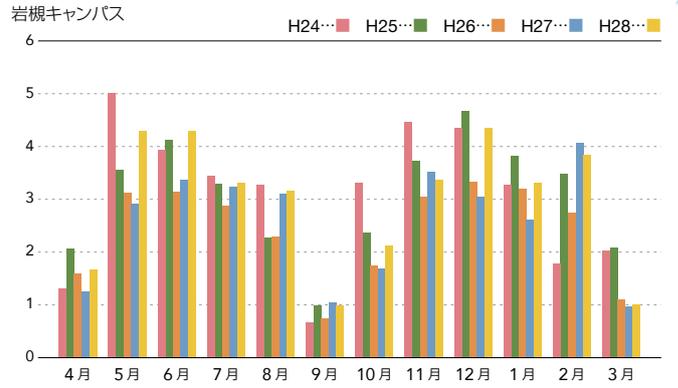
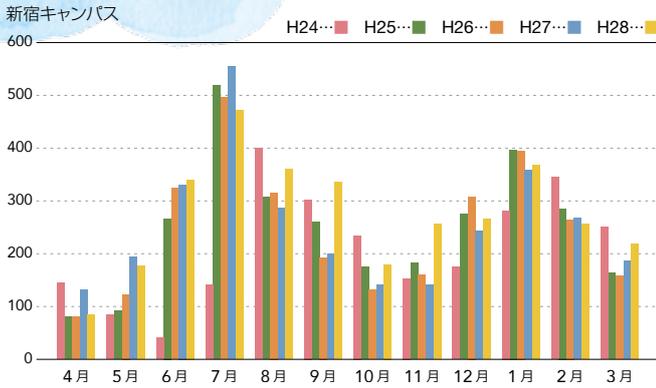
資格支援課パンフレット

環境負荷データ

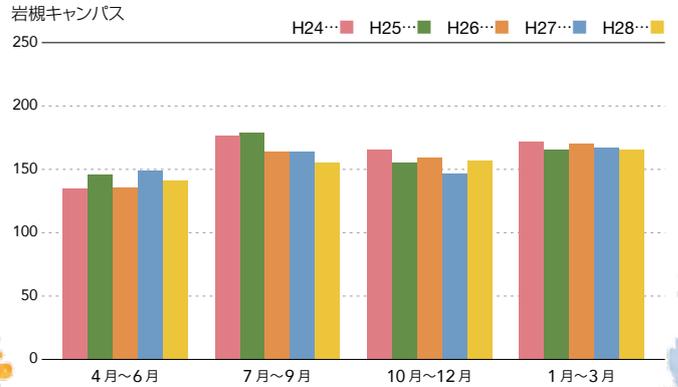
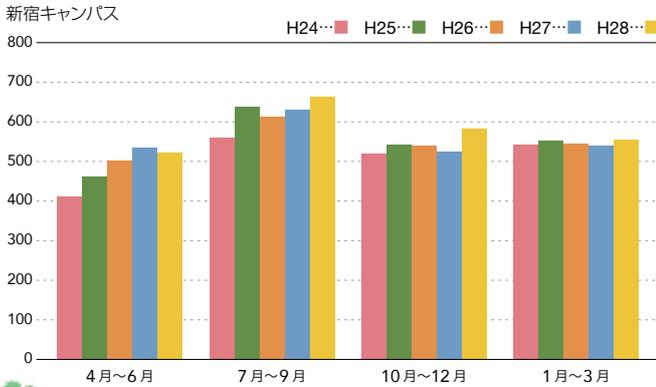
電気使用量 (単位:千kwh)



ガス使用量 (単位:百m³)



CO2 排出量 (単位:t)



目白大学

■新宿キャンパス 東京都新宿区中落合4-31-1 TEL:03-5996-3117
 ■岩槻キャンパス 埼玉県さいたま市岩槻区浮谷320 TEL:048-797-2222
<http://www.mejiro.ac.jp>

設置者	学校法人目白学園(尾崎春樹理事長)	
目白大学	設立年	平成6年 目白大学設置
	学生数	5,910名(平成29年5月1日現在)
	設置学部・学科	人間学部 心理カウンセリング学科/人間福祉学科/子ども学科/児童教育学科 社会学部 社会情報学科/メディア表現学科/地域社会学科 経営学部 経営学科 外国語学部 英米語学科/中国語学科/韓国語学科/日本語・日本語教育学科 保健医療学部 理学療法学科/作業療法学科/言語聴覚学科 看護学部 看護学科
	大学院	国際交流研究科/心理学研究科/経営学研究科/生涯福祉研究科/言語文化研究科 看護学研究科/リハビリテーション学研究科
目白大学短期大学部	設立年	昭和38年 目白学園女子短期大学設置(平成12年 目白大学短期大学部に名称変更・改組)
	学生数	442名(平成29年5月1日現在)
	設置学科	生活科学科/製菓学科/ビジネス社会学科



新宿キャンパス10号館



岩槻キャンパス1・2号館